

経済レポート

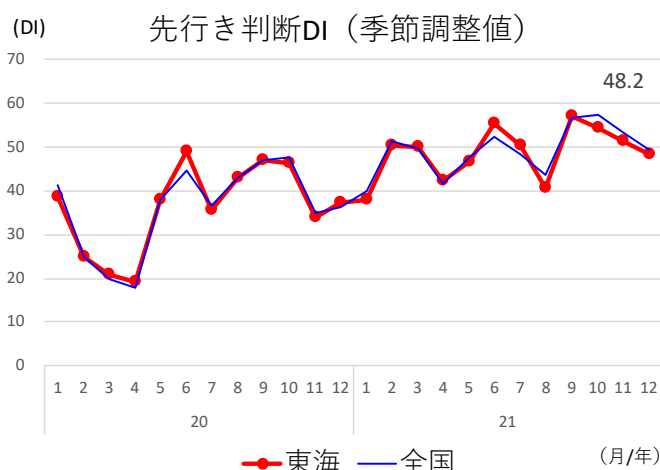
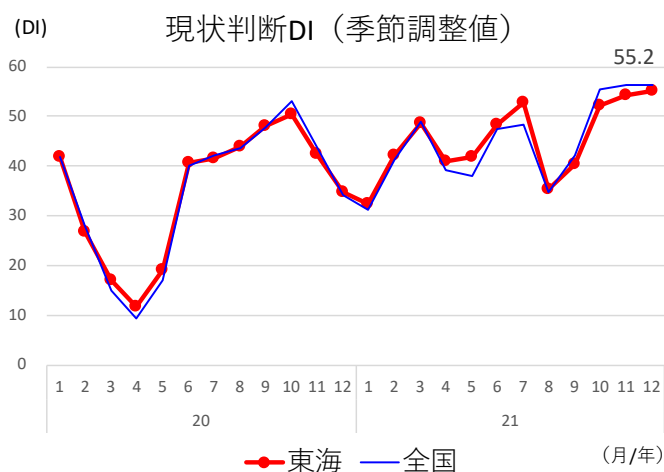
景気ウォッチャー調査(東海地区:2021年12月)

～現状の改善続くも、新変異株への懸念が高まる～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

- 1月12日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」によると、東海地区の12月¹の

**現状判断DI(季節調整値)は、前月差+0.8ポイントの55.2と4ヶ月連続で上昇した。
先行き判断DI(季節調整値)は、前月差-3.1ポイントの48.2と3ヶ月連続で低下した。**



- 当社では、東海地区の景気ウォッチャーの見方を

調査時点では、新型コロナウイルス感染者数の落ち着きにより景気は持ち直している。先行きについては、変異株の感染拡大への懸念が高まっている。

とまとめた。

(前月のまとめ)

「新型コロナウイルス感染者数減少により持ち直している。先行きについては、感染再拡大などを懸念しつつも、持ち直しが続くともみている。」

- 内閣府では、全国調査での景気ウォッチャーの見方を

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くともみているものの、コスト上昇等や変異株をはじめ内外の感染症の動向に対する懸念がみられる。

とまとめている。

(前月のまとめ)

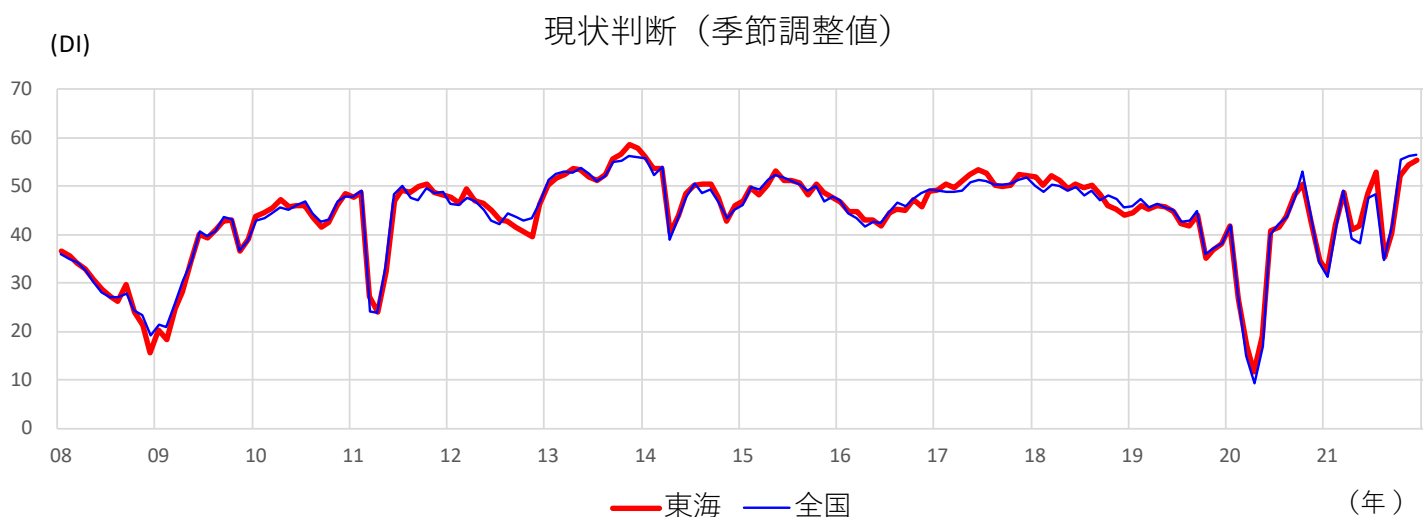
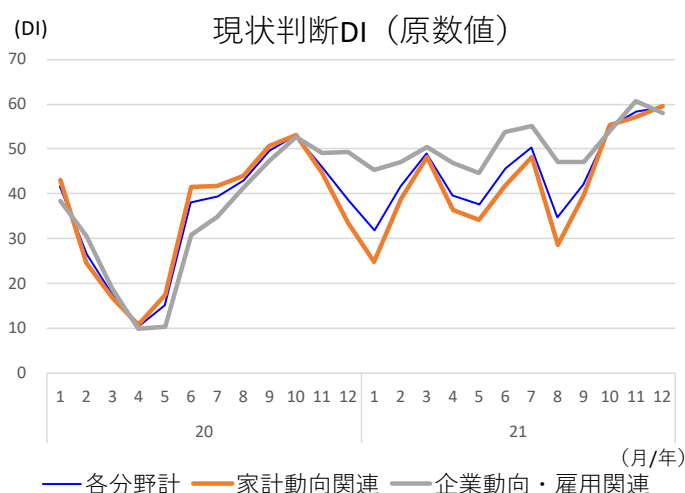
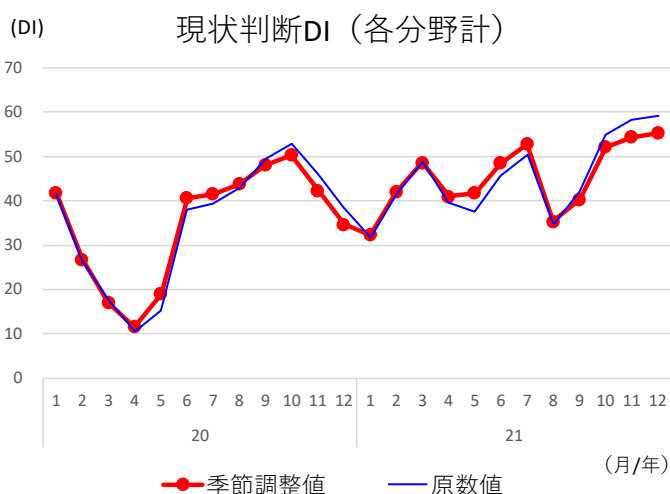
「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、持ち直している。先行きについては、コスト上昇等への懸念のほか、内外の感染症の動向に関する不確実性がみられるものの、持ち直しが続くともみている。」

¹ 調査期間は毎月25日～月末

1. 景気の現状判断(3ヶ月前との比較、方向性)

(1) DIの動向

- 3ヶ月前と比較しての景気の現状に対する判断DI²(季節調整値)は、前月差+0.8ポイントの55.2と4ヶ月連続で上昇し、横ばいを示す50を3ヶ月連続で上回った。12月は新型コロナウイルス新変異株の動向が注目されたが、新規感染者数の増加は落ち着いていたため、改善方向のコメント割合が前月に比べ小幅増加した。
- 部門別に見ると(原数値)、家計動向関連(小売、飲食、サービス、住宅関連)DIは、同+2.6ポイントの59.6と4ヶ月連続で上昇し、横ばいを示す50を3ヶ月連続で上回った。また、企業動向関連と雇用関連からなるDI³は、同-2.6ポイントの58.1と3ヶ月ぶりに低下したが、横ばいを示す50を3ヶ月連続で上回った。



² 本調査のアンケート・サンプル総数は227、うち家計関連153、企業・雇用関連74。以下、先行き判断についても同様。

³ 企業動向関連と雇用関連からなるDI(原数値)は、内閣府HPに掲載されている地域別の各分野合計値から家計動向関連の値を除いた上で、「景気ウォッチャー調査」のDI算出方法に従って当社調査部にて試算した。

(2) 現状判断理由の概要

(注) コメント引用部左側の記号は以下の通り

◎:良くなっている、○:やや良くなっている、□:変わらない、▲:やや悪くなっている、×:悪くなっている

【家計動向関連】

➤ コロナ感染者数の増加が落ち着いていることから人流の増加が続いており、景況観の改善につながっている。

◎	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルス感染が落ち着いている安心感から、来客数、売上共に前年から増加している。
○	商店街（代表者）	・人出が明らかに増えている。新型コロナウイルス発生前と比べればまだまだだが、やや活気が戻っている。
○	一般小売店 [土産]（経営者）	・緊急事態宣言が解除されて約3か月、観光客の戻りが増えてきた。マイカー利用の小グループはほぼ従前の状況を取り戻した。しかし、鉄道利用の都市圏からの客はまだ6割程度、観光バス利用の団体旅行は1割程度しか戻っていない。やはり集団行動への怖さが根付いているのであろう。後は新型コロナウイルス新変異株次第である。
○	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株により一時的には来客数や売上が前年を下回る状況となったが、クリスマスや年末は新型コロナウイルス発生前の水準近くまで戻っており、売上は前年を大きく上回る状況となっている。今のうちに買物しようという意欲の高い客が多いようにも見受けられる。
○	高級レストラン（経営企画）	・年末にかけて来客数が増加し、前日や当日の予約・問合せも増加傾向であった。しかし、まだ集まりへの懸念からテイクアウト需要も大きい。
○	観光型ホテル（経営者）	・10月からの県の観光需要喚起策と新規感染者数の減少のため、11月以降はどんどん客が入り始め、12月も週末を中心にかなりの来客数であった。かなり良くなっている。
□	コンビニ（本部管理担当）	・直近月の売上は前年比107%と好調である。売上が好調な理由は、新型コロナウイルスの感染が収束していることと、Go To Eatキャンペーンのチケット販売分が売上に加算されていることである。Go To Eatキャンペーンの恩恵を受けている飲食関係者も多いのではと推測する。このまま新型コロナウイルス感染の拡大がなければ、先行きは明るい。

【企業動向・雇用関連】

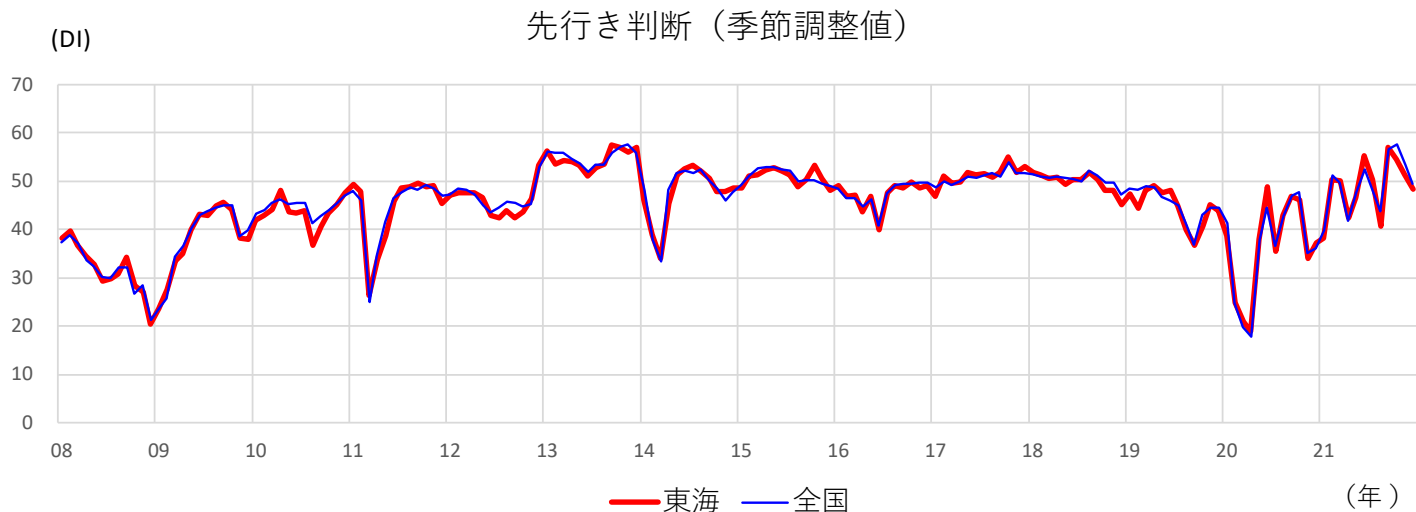
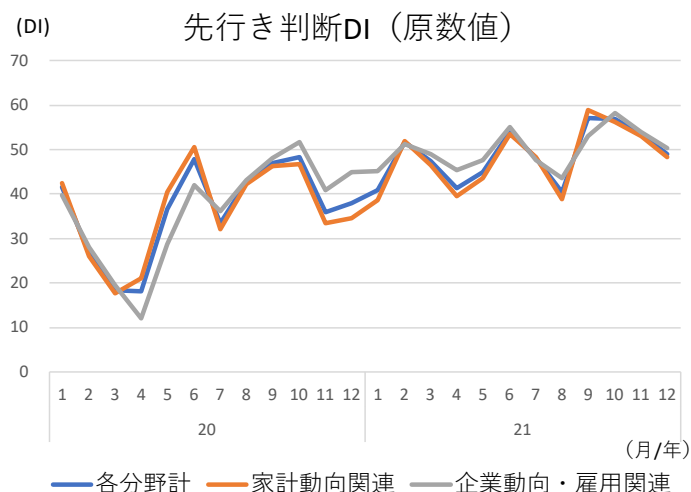
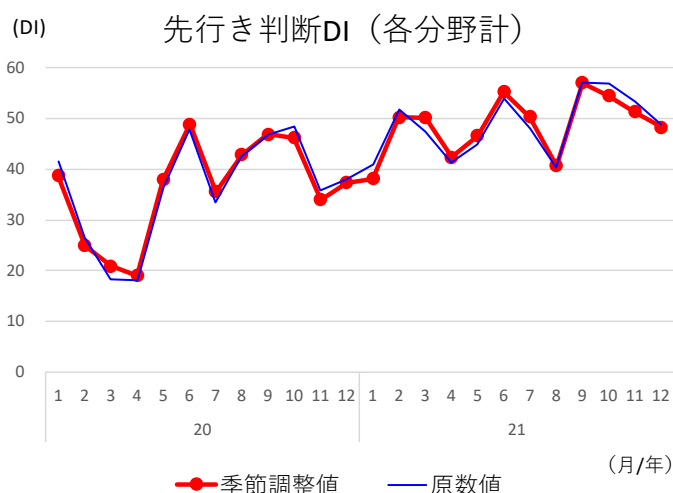
➤ 企業動向・雇用関連では、改善方向のコメントの割合が小幅減少しDIは低下（60.7→58.1）したが、水準は高い。

○	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることと、年末の青果物、農産物関連の販売量が増加しているため、3か月前と比べると景気はやや良い。
○	窯業・土石製品製造業（社員）	・見積依頼の件数が多く、受注率も高い。Webからの新規引き合いも多く多忙な状況が続いており、残業と休日出勤で対応している。
○	不動産業（経営者）	・今までのリバウンドか、問合せが多くなった。
○	人材派遣会社（企画統括）	・新規求人数が前年同期比で増加しており、必要な人材を求める企業の採用意欲がうかがえる。
○	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月と比べて増加傾向が継続している。製造業のうち主たる業種の輸送用機械器具製造業の求人数が、半導体等の部品供給不足の影響を受けながらも、前年同月と比べて増加している。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注状況は良いが、部品調達の影響で納期に影響が出ている。
□	輸送業（経営者）	・海外から一部の部品が滞り生産の落ちているメーカーはあるが、生産財、消費財共に物量は安定している。

2. 景気の先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性）

（1）DIの動向

- 2～3ヶ月先の景気の先行きに対する判断DI（各分野計：季節調整値）は、前月差-3.1ポイントの48.2と3ヶ月連続で低下した。新型コロナウイルス新変異株への懸念が高まっている。
- 部門別に見ると（原数値）、家計動向関連（小売、飲食、サービス、住宅関連）DIは、同-4.9ポイントの48.2と3ヶ月連続で低下し、横ばいを示す50を4ヶ月ぶりに下回った。企業動向関連と雇用関連からなるDIは、同-3.6ポイントの50.3と2ヶ月連続で低下したが、横ばいを示す50を4ヶ月連続で上回った。



(2) 先行き判断理由の概要

(注) コメント引用部左側の記号は以下の通り

◎:良くなる、○:やや良くなる、□:変わらない、▲:やや悪くなる、×:悪くなる

【家計動向関連】

➤ 新型コロナウイルス新変異株への懸念が高まっている。

□	一般小売店 [生活用品] (販売担当)	・今後新型コロナウイルス感染が再拡大すれば、外出自粛や買い控えがまた起こる不安がある。
□	スーパー (支店長)	・最近収束しつつあった新型コロナウイルス感染が、新型コロナウイルス新変異株の出現で再びじわじわと拡大しつつあるなかで、まだ多少の影響しかないが、恐らく年明けには急拡大すると思われるので、消費への悪影響は避けられない。これがいつまで続くのかも不明であり、また暗いトンネルに入るのではと不安でならない。
□	乗用車販売店 (従業員)	・年度末決算期を迎えるが、新車の納期問題に加えて新型コロナウイルス新変異株の流行拡大がどの程度になるかによっては、また営業活動に制約を求められないかが心配である。
▲	百貨店 (販売促進担当)	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染者が出始めたので、2～3か月後には第6波の影響が出ていると予測する。
▲	コンビニ (企画担当)	・しばらくは足元の状況を維持できると思うが、年末年始に人の移動が活発化することによって新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すると、急速に悪化する可能性がある。
▲	家電量販店 (フランチャイズ経営者)	・12月になって来客数が前年比で2割減っている。新型コロナウイルス新変異株への警戒で外出自粛が既に始まっているならば、感染拡大が予想される1～2月は更に来客数が減るのではないかと見込まれる。
▲	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルス第6波が少しずつ近づいており、不安もあるため、また客の外出が減ると思う。
▲	旅行代理店 (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がり、再度移動や飲食業の自粛が始まると考えられる。既にターミナル駅前のビル内にある旅行代理店のカウンターが1月末で閉鎖する連絡が客にあるなど、ウィズコロナ時代に対応する縮小態勢に入る業界が出始めている。
×	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が非常に懸念される。2～3か月後が一番危険な状態になると思う。

【企業動向・雇用関連】

➤ 企業動向・雇用関連でも新変異株への懸念が高まっているが、家計動向関連に比べれば、改善方向のコメントの割合が高くなっている。原材料価格上昇への懸念もみられる。

○	電気機械器具製造業 (経営者)	・新型コロナウイルス次第であるが、年度末に向けてある程度は設備投資が増えると期待している。
○	職業安定所 (職員)	・輸送用機械器具製造業について、半導体等の部品も徐々にではあるが入り始めており、新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくと思われる。一方、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や原材料高もあり、先行きに不安要素もある。
□	輸送用機械器具製造業 (総務経理担当)	・ここに来て新型コロナウイルス新変異株が流行しており、部品の供給にまた支障が出ると心配している。そのため現状程度が続くと思う。
□	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・新型コロナウイルス新変異株が出現したため、観光や購買の需要も一気には回復せず様子見となる。新型コロナウイルスの感染が克服できたという段階まで、このまましていくのではないかと。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されているなか、原油価格の高騰等による原材料の値上がり分を販売価格へ転嫁できないため、収益面では非常に苦しい状況が続く、景気はやや悪くなる。
▲	電気機械器具製造業 (経営者)	・10月から実施された鋼材値上げによる製品単価への転嫁がじわじわと効く。受注残については従来の価格でこなしてきたが、今後の値上げ等を考えると若干消費は落ち込むと思う。
▲	建設業 (役員)	・資材などが思った以上に高騰している。一戸建て住宅でのウッドショック、マンションでの鉄や住宅設備の値上げなどで物件価格が1割アップになり、販売への影響を見込む。住宅税制も縮小となるため、客に対しては逆風ばかりである。

景気ウォッチャー調査について

- 景気ウォッチャー調査は、内閣府が月次で公表する景況調査で、百貨店売場担当者、タクシー運転手、企業経営者など地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々に景気の方角性、水準についての見方を回答してもらい、その結果を集計公表するサーベイ調査である。
- 調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月 25 日から月末である。
- 調査対象の職種によって、「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」に区分し、区分毎に、集計結果を公表している（地域別は各分野計、家計動向関連のみ公表）。
 - 「家計動向関連」：商店街代表者、百貨店担当者、タクシー運転手、美容室従業員など
 - 「企業動向関連」：製造業経営者、非製造業経営者など
 - 「雇用関連」：人材派遣会社社員、職業安定所職員など
- 主な調査項目は、次の 3 項目。
 - (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
 - (2) 景気の先行きに対する判断（方向性）
 - (3) 景気の現状に対する判断（水準）
 (1) (2) については、判断の理由についても回答を求めている。
- 上記調査項目について、下記の 5 段階の判断を求め、回答結果をもとにそれぞれ点数を与え、これを各回答区分の構成比に乗じて D I を算出している。回答者全員が「変わらない」と答えた場合、D I は 50 となるため、D I = 50 が景気の横ばいを示すこととなる。

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
評価	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

(出所) 内閣府HP

- 全国各地の地域ブロック毎に集計・分析をおこなっており、東海地区は、岐阜、静岡、愛知、三重の 4 県が対象となっている。

※調査の詳細については、内閣府 HP、「景気ウォッチャー調査」報告書をご参照ください。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。